

6 3 6 1 - 1 7 3
平成18年 1月25日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第12号について
平成17年度病害虫発生予察注意報第12号を発表したので送付します。

平成17年度病害虫発生予察注意報第12号

平成18年1月25日
宮 崎 県

病害虫名 うどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類

作物名 イチゴ

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 収穫期

3 発生量 うどんこ病 やや多
ハダニ類 多
アブラムシ類 多

4 注意報の根拠

1) うどんこ病

1月中旬現在の発生状況は、発生面積率 41.7 % (平年値 28.5 %)、発病葉率 3.6 % (平年値 1.4 %) で、ともに平年に比べやや多い。

2) ハダニ類 (ナミハダニ、カンザワハダニ)

1月中旬現在の発生状況は、発生面積率 41.7 % (平年値 42.3 %) で平年並であるが、寄生株率 16.7 % (平年値 8.1 %) で過去 10 年でもっとも多い発生となっている。

3) アブラムシ類

1月中旬現在の発生状況は、発生面積率 41.7 % (平年値 14.4 %)、寄生株率 7.8 % (平年値 1.8 %) で、ともに過去 10 年でもっとも多い発生となっている。

4) 二番花着花後は、薬剤散布が制限されるため早期防除が重要である。

5) 向こう 1 か月の天候は平年と同様に晴れの日が多く、気温・降水量・日照時間ともに平年並みの予想である。(平成18年1月20日 鹿児島地方気象台発表)

5 防除上の注意

1) いずれの病害虫も多発生後の防除は困難となるので、早期発見、早期防除に努める。また、いずれも葉裏に寄生することが多いので、葉裏に薬液がかかるように丁寧に散布する。

2) うどんこ病・ハダニ類については上位葉への進展が見られるなど病徴の激しいほ場においては、1回散布では防除効果が現れにくいことがあるので、1週間間隔で2回以上の防除を実施する。

3) ハダニ類・アブラムシ類はイチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場内外の除草を行う。

4) うどんこ病の罹病葉やハダニ類が寄生した葉はほ場内に放置せず、ビニル袋などに密封して処分する。

5) 同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤のローテーション散布に努める。

6) 効果のある薬剤等、その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。

《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 興梠

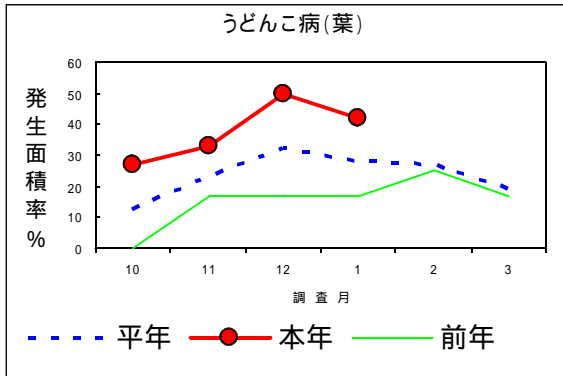
TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-7499

ホームページ : <http://www.jpnp.ne.jp/miyazaki>

E-mail : byougaichu-hiryu@pref.miyazaki.lg.jp

冬春イチゴの病害虫発生消長

面積率



程度

